

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会誌



# ハナミズキ

Vol.5

Feb. 2019



## 同窓会会長挨拶

リハビリテーション学科  
同窓会会長 森 雄也

皆様、こんにちは。今年度よりリハビリテーション学科同窓会会長を務めさせて頂いております。理学療法専攻5期生の森雄也と申します。今年度も同窓会の発展のために役員一同努力して参ります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年も無事に同窓会誌「ハナミズキ」を発行することができました。今回の「ハナミズキ」では、通常の活動報告に加え、各専攻の新しい先生方や新アリーナの紹介について記載しております。

本同窓会では昨年度、寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部課長の三宮先生に「専門職としての災害時の対応と復興への関わり」というテーマでご講演頂きました。2年前の熊本地震を受け、今回の講演により参加された多くの皆様と実践を交えながら、震災があった際にどのような行動をとるべきか、ということ学びました。今年度は来年度の講演会に向けて準備をしているところです。来年度の研修会は千里リハビリテーション病院、副院長の吉尾雅春先生にご講演して頂く予定です。皆様と共に多くの事を学ぶことができ、また先輩後輩同士が繋がるきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、熊本保健科学大学の卒業生として今後も一緒に大学や同窓会を盛り上げていきましょう。今年度も変わらぬご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 教員挨拶

### ■ご挨拶

銀杏学園 理事長  
熊本保健科学大学学長 崎元 達郎

リハビリテーション学科同窓会の皆様  
こんにちは！

貴同窓会は、昨年度(平成30年3月)末時点で、理学療法専攻と生活機能療法専攻(旧作業療法専攻)の8期生に、言語聴覚専攻の4期生を加えて、約800人の所帯にのまれたと思います。本学の3学科の中では、一番若い学科ですから、同窓会としてのまとまりが最も重要な時期だと思います。大学としては、卒業生を大事に考え、実のある交流を続けたい、また、その核となる同窓会の活動をできる限り支援していきたいと考えています。ちなみに、医療福祉の世界では、団塊の世代が後期高齢者になり3人に一人が高齢者になる「2025年問題」と18歳人口が今後10年間で約20万人減少する「少子化の問題」がありますが、本学では、「10年後も20年後も選ばれ続ける大学」であるためにどのような人材を育成すべきかをテーマに教育改革に着手しています。また、大学のブランディングへの注力も言われていますが、何よりも卒業生の活躍が熊本大生のブランディングの大きな要素になることに疑いはありません。

この3月に新アリーナも完成し、大学と西里駅が直結し、夜も明るい通学路が確保されました。同窓会の皆様も、是非一度、母校にお立ち寄りください。

最後になりますが、同窓会を運営していただいている役員の皆様に感謝申し上げます。

もに、同窓会とそれを構成する卒業生一人一人の活躍とご成功を祈念しています。

## ■キャンパスのハナミズキ

リハビリテーション学科  
学科長 山野 克明

本学のキャンパスにはハナミズキの木が植樹されています。1号館の西側、市道との間にいくつかの木と並んで立っています。そばには石碑があり、うつすらと「卒業記念樹 第六期生 昭和四十一年三月十日」と記されています。

本学は昭和34年に開校した化血研衛生検査技師養成所(翌年、熊本医学技術専門学校と改称)を前身とします。本学は開学時にキャンパスを移転しており、記念樹を移植した事実も定かではないのですが、このハナミズキは今から52年前に熊本医学技術専門学校を卒業した先輩方の卒業記念樹であらうと思われまます。

北アメリカ原産であるハナミズキの英語圏での花言葉を調べると「Durability」という言葉が出てきます。永続性や耐久力という意味だそうです。本学のハナミズキはひっそりとはありますが、皆さんの成長を見つめてきたのです。そして、これからはもずっと、リハビリテーション学科卒業生の末永い活躍を西里の地から見守り続けてくれると思います。

## ■皆さんはタンパク質摂取を意識していますか?

理学療法学専攻

専攻長 土井 篤

熊本保健科学大学リハ学科 同窓生の皆

さん、お元気ですか?

今年の夏はある意味、異常なほどの外気温の上昇、台風の迷走、そして豪雨に見舞われました。そのような自然災害の被害に遭われた多くの方々に対してお見舞い申し上げます。

さて、男性のみならず女性の方にとって関心事の一つであるダイエット。勿論、理学療法の立場からも皆さんに運動、特にウォーキングをオススメしたいのですが、ウォーキングしても意外にダイエット効果が表れないと実感する方も多いのではないのでしょうか?それは、約1時間程度、早歩きウォーキングしてもアンパン半分(150kcal)ほどしかエネルギーを消費しないからです。その分、お好きな甘いものを食べれば、ダイエット効果は殆どないどころか逆効果にもなりかねません。私は、かねがね食べ物がお好きなものを食べれば良い、即ち食べ物を制限する必要はないと思っていますし、それを自ら実践していませんが、よくよくご自身の食生活を振り返ってみて下さい。カレーライス、麺類、丼もの、 피자、パスタその他(これは私自身が特に好きなもので...)、私と同様に皆さんがお好きな食べ物はこのような炭水化物が主となっているものではないでしょうか?別にそれらを食べることを私は制限してみては?と言っている訳ではありません、私がダイエットに興味のある方々に申し上げたいのは、(1)タンパク質をいつも意識するという事です。タンパク質を意識するとは、1日当たり体重(ご自分の体重Kgをgに書き換える。例えば60kgの人であれば60g)の15倍(約90g)を目標にタンパク質の摂取に心がけようと努力するということです。最近、特に回復期リハビリテーション病院では、リハビリテー

ション栄養が一種の流行りになっていて、

摂取栄養カロリーのあまる程度維持しないと、運動療法を施しても意味が無い、逆に筋肉は細くなってしまおうとも考えられています。しかしながら、私は摂取する栄養カロリーではなく、栄養素としてのタンパク量に注目すべきではないか?それが入院患者の運動効果に関わっており、その事を我々は医師のみならず管理栄養士と議論を深めていかなければならないと思っています。特にリハビリテーション関連職種として働かれている女性の皆さん、できれば若いうちから栄養素としてのタンパク質摂取(プラスカルシウム摂取)に関心を持っていたら、いつまでも美と健康を維持していただきたいと思います。

## ■PTとOTの違いが分かりません

生活機能療法学専攻

専攻長 安田 大典

9月のオープンキャンパスでは1000名以上の方に来校頂きました。今年も高校生が「PTとOTの違いが分かりません」と質問をしてくれました。皆さんは患者様はどう説明していますか?

OTの説明には歴史が欠かせません。フランス革命以前、精神領域の患者様は病院に収容され人権が奪われていました。革命後、患者様は明るい病棟で健やかに生活し、看護師がレクリエーションなどを行います。2度の世界大戦の際も負傷者に対し社会復帰のために職業訓練や木工などを行い心のケアを行ったのが看護師でした。その行為の一部が長い歴史を経てOccupational Therapyとなりました。

なぜ先人はOccupational Therapy

と名付けたのでしょうか。辞書でOccupationは、職業、仕事、余技、趣味、占拠、占有と表記されています。私はOccupationを「心の中に満たされる大切な目的・価値・興味など」とイメージしています。つまり、Occupational Therapyは心の中の大切な思いを用いて治療を行うと解釈しています。昨今、日本OT協会は定義を変更しました。PTとOTの違いの説明で皆さんの参考になれば幸いです。

## ■言語聴覚学専攻

専攻長 小蘭真知子

臨床に出て言語聴覚療法の奥深さを実感することが多いのではないのでしょうか。興味ある領域で臨床している人もいれば、難しいと感じる領域で日々奮闘している人もいます。専門性を深めるには時期や出会いの縁が大切ですので、これからは様々なチャンスに積極的に取り組んでいきましょう。

私は学生時代に出会った吃音の本が縁で言語聴覚士を目指したのですが、臨床のスタートは失語症でした。失語症の訓練も非常にやりがいがありました。外來での吃音の相談も、数は少なかつたものの印象的な症例ばかりでした。大学に来て吃音の方々のご相談が増えました。それも、病院では受け入れてもらえず困って大学へ問い合わせた方々です。

昨年からは吃音の授業を持つようになり、積極的に吃音の支援ができる言語聴覚士に育ってほしいと願っています。卒業生の方々も吃音のミニ勉強会でもいいし、個人的な相談にも乗りますよ。2020年8月には、本学で第8回日本吃音・流暢性障害学会を開催しますので、ぜひご参加をお待ちしています。

## 新任教員紹介

新任の先生方に趣味をうかがいました！



<ST:井崎 基博>  
旅行です。最近は子供と二人でグールグル



<ST:畑添 涼>  
テニスです。でも最近では子供と遊ぶことが楽しみになっています。



<OT:小手川 耕平>  
旅行です。東京ディズニーランドによく行きます。

## 平成30年度 連合同窓会講演会の案内

### 日時

平成31年3月9日(土)

14:00～講演会受付 14:30～連合同窓会式典 15:00～講演会(100分)  
17:00～懇親会受付 17:30～懇親会

### 場所

ザ・ニューホテル熊本

講演会の講師：赤坂 威史 先生

テーマ：災害に医療従事者として向き合うこと～熊本地震の経験から～

参加費：無料

懇親会費：4,000円



## 熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会会則

平成30年4月1日制定

### 第1章 総 則

- 第1条 この会は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会という。
- 第2条 この会は、本部を熊本保健科学大学リハビリテーション学科内（熊本市北区和泉町325番地）におく。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦を図ると共に、学術技能の向上に努め、母校の名聲を宣揚し、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 各専攻間の連携・親睦を深めること。
  - 2 同窓会誌及び同窓会会員名簿発行に関すること。
  - 3 学術研修会及び研究発表会に関すること。
  - 4 その他この会の目的を達成するため必要な事業。

### 第2章 会 員

- 第1条 この会の会員は、次のとおりとする。
- 正 会 員 熊本保健科学大学リハビリテーション学科を卒業したもの。  
特別会員 熊本保健科学大学職員で、会長の推薦したもの。  
準 会 員 熊本保健科学大学学生
- 第2条 この会の会員（特別会員を除く）になろうとする者は、総会に於て定められた会費を納入しなければならない。
- 第3条 会員は、氏名、住所、勤務先等に変更が生じた場合は、その都度指定した連絡先に通知するものとする。

### 第3章 役 員

- 第1条 この会に、次の役員をおく。
- |      |                 |
|------|-----------------|
| 会長   | 1名              |
| 副会長  | 2名              |
| 評議員  | 4名              |
| 会計   | 2名（事務局・学術局から1名） |
| 監事   | 2名              |
| 常任委員 | 各専攻・各期から2名      |
- 第2条 役員の選出方法は次のとおりとする。
- 1 会長及び副会長は、正会員の中より評議員会において選出する。
  - 2 評議員及び会計・監事は、常任委員会において常任委員の中から選出する。
  - 3 常任委員は、総会において会員の中から選出する。
- 第3条 役員の職責は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。
  - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。
  - 3 評議員会は、会長の諮問する重要事項を審議する。
  - 4 監事は、この会の経理を監査し、評議員会に報告する。
- 第4条 役員の任期は、次のとおりとする。
- 1 会長は、任期を1年とする。
  - 2 副会長及び会計・監事・評議員は、任期を1年とする。
  - 3 常任委員は、任期を任意とする。
- 第5条 この会は、本部に事務局と学術局を設ける。
- 第6条 事務局は、常任委員より選出し、庶務部、企画部の係をおく。
- 1 庶務は、会員の異動調査及び会員名簿の出版等庶務一般の管理を担当する。
  - 2 企画は、総会・同窓会誌・講演会・懇親会の企画及び業務を担当する。
- 第7条 学術局は、常任委員より選出し、学術研修部、研究発表部の係をおく。
- 1 学術研修部は、研修会の企画・運営を担当する。
  - 2 研究発表部は、研究発表会の企画・運営を担当する。

### 第4章 会 議

- 第1条 会議は、総会及び評議員会とする。
- 第2条 総会は、次のとおりとする。
- 1 毎年本校において開催する。但し都合によって開催地を変更することができる。
  - 2 次年度の事業・予算決定、前年度の事業・決算報告の承認、その他会長が付議した重要な事項を議決する。
  - 3 議事は、出席者の過半数をもって決する。
  - 4 総会の欠席者は、議決に関する一切の権限を議長に一任することとする。
- 第3条 評議員会は、次のとおりとする。
- 1 会長が必要に応じてこれを召集する。
  - 2 総会に付議すべき事項、事業の執行に関する事項、その他会長が付議した事項について議決するものとする。

### 第5章 会 計

- 第1条 この会の経費は、会費、寄付金、賦課金及びその他の収入とする。
- 第2条 予算及び決算については、次のとおりとする。

- 1 この会の予算及び決算は、総会においてその承認を得なければならない。
  - 2 決算書には、すべての財源及び使途ならびに現在の経理状況を明らかにし、会計監査を受け、その意見書を添付しなければならない。
- 第3条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第4条 この会の会計経理は、この会則に定めるもののほか、会計規則で定める。

### 第6章 会則の変更

- 第1条 この会の会則の改正は、総会において承認をうけなければならない。

### 付 則

- 1 この会則は、平成25年8月3日から施行する。
- 2 この会則は、一部改訂し、平成28年4月1日から施行する。
- 3 この会則は、一部改訂し、平成29年4月1日から施行する。
- 4 この会則は、一部改訂し、平成30年4月1日から施行する。

### 細 則

(会費・入会金・納入時期)

- 1 第2章第2条による会費は、永年会費5000円、入会金5000円とする。
- 2 会費は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科入学時に納入するものとする。
- 3 準会員で退学したものは申し出により会費を返金するものとする。

## 会 計 規 則

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規則は、会則第5章に基づき、会計に関する必要な事項を定める。
- 第2条 会計は、経費及び物品の出納事務を取り扱い、会計担当常任委員がこれを行う。
- 第3条 出納の事務は、すべて文書により処理し、会長の決済を経なければならない。但し、請求書または領収書徴収不能の場合は、会長または会計担当常任委員以外の常任委員1名以上の認定を以て、これに変えることができる。
- 第4条 会計または支出に対し、不当と認められた時は、評議員会にはかるものとする。
- 第5条 予算外の支出または予算超過の支出に当てるため、予備費を設けることができる。
- 第6条 出納の経理を明らかにするため、下記の帳簿を備え証書類と共に保管しなければならない。
- (1) 金銭出納簿 (2) 会費納入者名簿 (3) その他の補助簿
- 第7条 会務のために出張する者または会務に従事する者に対しては、最低限必要と思われる旅費及び行動費を支給することができる。
- 第8条 会計は、年度毎に収入支出決算書を作成し、会計検査を受け、その意見書を付して、総会に提出しなければならない。
- 第9条 会計は、総会までに収入予算案を編成し、評議員会の議を経て総会に提出しなければならない。
- 第10条 会計は、必要に応じ評議員会の議を経て、一会計年度中の一定期間内にかかる暫定予算を作成し、これを執行することができる。この場合、暫定予算は当該会計年度の予算が成立したとき、その効力を失う。
- 第11条 会計は、必要と認める時は会長の承認を経て、資金前渡を行うことができる。この場合、事務終了後直ちに精算しなければならない。
- 第12条 この規則の改正は、評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規則は、平成30年4月1日より施行する。

## 旅費及び行動費支給規定

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規定は、会計細規則第7条の規定により旅費及び行動費支給に関する必要な事項を定める。
- 第2条 この会の会員及びその他の者で、会長の命令又は要請により会務のため出張する者又は会務に従事する者にはこの規定により旅費及び行動費を支給する。
- 第3条 前条の旅費とは、交通費の実費及び会長が必要と認めた場合の宿泊料とする。
- 第4条 行動費は日数に応じ、宿泊料は夜数に応じて支給する。
- 第5条 交通費は、等級の区分がある場合は最下級のものとし、必要がある場合は急行及び寝台の料金を加算することができる。
- 第6条 交通費実費の計算は目的地までの最短順路によって行う。但し、天災その他やむをえない事由により順路を変更した場合はその現に経過した経路による。
- 第7条 宿泊料は実費を支給する。行動費は日額1000円とする。
- 第8条 会長は時宜により旅費及び行動費の一部もしくは全部を支給しないことができる。
- 第9条 この規定の改正は評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規定は平成30年4月1日より施行する。

## 平成29年度 事業報告

### I. 運営に関する事項

1. 常任委員総会  
平成30年2月4日（日） 熊本機能病院
2. 役員会  
21回開催

### II. 教育に関する事項

- リハビリテーション学科同窓会開催  
講演会開催 三宮克彦先生  
平成30年2月4日（日） 熊本機能病院  
講演「熊本地震～直後から現在までのJRATの活動～」  
ディスカッション「専門職としての災害時の対応と復興への関わり」

### III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握  
会員の住所録調査とデータ管理

### IV. 福祉に関する事項

- 式典（入学式、卒業式）に会長が出席

### V. 出版に関する事項

- 同総会誌『ハナミズキ』第4号発行

## 平成29年度 収支決算報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

### I. 収入の部

（単位：円）

費 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 会 費 収 入	1,310,000	1,310,000	0	平成28年度入学生 131名
2. 補 助 金 収 入	250,000	250,000	0	学校法人銀杏学園 250,000円
3. 講演会・懇親会費	50,000	2,000	▼48,000	講演会参加費 500円×4名
4. 雑 収 入	1,000	88	▼912	銀行利息
5. 前年度繰越金	8,747,292	9,231,275	▲436,974	（銀行8,988,219円 手持ち196,047円）
収 入 合 計	10,358,292	10,793,363	▼248,876	

▲は予算より収入増  
▼は予算より収入減

### II. 支出の部

（単位：円）

費 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 懇 親 会 費				
1) 講演会・懇親会開催費	100,000	120,000	▲20,000	講演会（講師への謝礼と交通費）
2) 福 祉 費	25,000	34,310	▲9,310	教員退職祝い2名分
2. 会 議 費				
1) 役員会会議費	250,000	65,000	▼185,000	
3. 事 務 費				
1) 備品費	10,000	5,489	▼4,511	パソコンケース
2) 消耗品費	10,000	108	▼9,892	封筒
3) 通信費・印刷費	350,000	262,353	▼87,647	印刷、第4号ハナミズキ発送
4. 拠 出 費	0	0	0	同窓会連合会
5. 予 備 費	10,000	864	▼99,136	銀行手数料
支 出 合 計	755,000	488,124	▼356,876	

▲は予算より支出増  
▼は予算より支出減

## 平成30年度 事業計画

### I. 運営に関する事項

1. 総会を開催する  
平成31年3月9日(日) ザ・ニューホテル熊本
2. 役員会  
22回開催

### II. 教育に関する事項

- リハビリテーション学科同窓会開催予定  
講演会開催予定 (連合同窓会主催)

### III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握  
会員の住所録調査とデータ管理

### IV. 福祉に関する事項

- 式典(入学式、卒業式)参列並びに祝電送付  
会員、準会員の慶弔禍福

### V. 出版に関する事項

1. 同総誌『ハナミズキ』第5号発行

## 平成30年度 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

### I. 収入の部

(単位:円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 会費収入	1,310,000	1,200,000	▲110,000	平成30年度入学生 120名(40人×3専攻)
2. 補助金収入	250,000	250,000	0	学校法人銀杏学園250,000円
3. 講演会・懇親会費	50,000	0	▼50,000	連合会開催のため本年度は講演会無し
今年度収入合計	1,610,000	1,450,000	▲160,000	
雑収入	1,000	88	▼912	銀行利息
前年度繰越金	8,747,292	9,184,266	▲436,974	
収入合計	10,358,292	10,634,354	▲276,062	

▲は前年予算額より収入増  
▼は前年予算額より収入減

### II. 支出の部

(単位:円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	100,000	0	▼100,000	本年度研修会なし
2) 懇親会開催費		80,000	▲80,000	懇親会費
3) 福祉費	25,000	35,000	▲10,000	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	250,000	65,000	▼185,000	
3. 事務費				
1) 備品費	10,000	60,000	▲50,000	事務用品(パソコンソフト含む)
2) 消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品
3) 通信費 印刷費	350,000	350,000	0	印刷、第5号ハナミズキ発送
4. 拠出費	0	900,000	▲900,000	同窓会連合会
5. 予備費	10,000	1,000	▼9,000	銀行手数料など
支出合計	755,000	1,501,000	▲746,000	

▲は前年予算額より支出増  
▼は前年予算額より支出減

## 監査報告

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科  
同窓会会長 森 雄也 殿

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科同窓会会則第5章の規定により、平成30年10月4日、熊本保健科学大学スタッフルームにおいて、平成29年度決算について監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

平成30年10月4日  
監事 武藤 麗華  
監事 志賀 彰



## 講演会の希望受付

毎年、同窓会にて講演会・勉強会を企画しています。より皆様にとって有意義な機会にするために、講演会・勉強会の希望を受け付けています。

この講師・先生の講演を聞いてみたい、こんなテーマで開催してほしい、など皆様から頂いた希望を同窓会がサポートできればと考えています。

皆様からの貴重なご意見・ご要望をお待ちしています。

連絡先 Email : khsu-reha-gakujistukyoku@outlook.jp 同総会学術局

## 名前・住所の変更

名前・住所の変更があった方は、小野高速印刷までご連絡をお願いします。

変更前の氏名・住所と変更後の氏名・住所を合わせてご連絡ください。

小野高速印刷(株) 熊本営業所

熊本県熊本市中央区上水前寺1丁目12-12 第二コーポ・アベリア1F

連絡先 Tel : 096-382-1177 E-mail: kumamoto@ohp.co.jp

## 平成31年度 研修会の案内

**日 時** 平成31年9月14(土)、15日(日)

**場 所** 熊本保健科学大学

**講 師** 吉尾雅春先生

**テ ー マ** 脳画像から読み解く障害の理解

サブテーマ：1日目 脳画像の基礎～病巣の同定～

2日目 脳画像の応用～予後予測とアプローチの概要～



**対 象** 熊本保健科学大学 卒業生・在校生他

**参 加 費** 2500円(14日だけの参加: 1000円 15日だけの参加: 1500円)

**懇親会費** 500円

### 講師プロフィール

**氏 名** 吉尾雅春(よしおまさはる)

**略 歴** 1974年 九州リハビリテーション大学校理学療法学科を卒業後、中国労災病院勤務。  
その後、兵庫・大阪の病院で理学療法士として勤務。

2002年 医学博士の学位を取得

2006年 千里リハビリテーション病院副院長

日本理学療法士協会 日本神経理学療法学会 代表運営幹事

元、脳卒中理学療法ガイドライン班長

理学療法ジャーナル編集委員

**学会活動** 日本リハビリテーション医学会、日本義肢装具学会、日本神経理学療法学会、同運動器理学療法学会、同基礎理学療法学会

**著 書** ・脳卒中理学療法の理論と技術 改訂第2版

・神経理学療法学

・運動療法学総論第4版(医学書院) など多数

## 平成30年3月に新アリーナが完成しました！

### 施設概要

鉄筋2階建、総延べ床面積約2,500㎡ 収容人数:1,600名程度(旧アリーナ:約1,000名)



### 福祉避難所として利用可能

ガス自家発電装置、介護用シャワー室（停電時も使用可能）、多機能トイレ（ベビーベッドも設置）を備えており、停電時にも福祉避難所として利用可能です。また、熊本地震の経験を反映しアリーナの照明には避難所モード（真っ暗にせず眠れる程度の薄暗さ）が設けられ、ステージにもトラックから直接荷物を搬入できる扉が設置されました。その他、アリーナ内にコンセントの設置、フリー Wi-Fi の導入等様々な工夫がされています。

### アリーナ

アリーナ内はバレーボールコートを2面取ることができ、さらにその周りにもスペースが十分確保されています。また、床と壁の両方に冷暖房が備わっており、主に冷房は壁から、暖房は床から冷暖房設備も整っています。



### 園芸療法施設

大学で薬草園等を活用した農業に関する研究やカリキュラムの導入にあたり、生活機能療法学専攻の学生を対象に、園芸療法に関する授業で利用されます。



平成30年度の入学式は、新アリーナで行われました！